

こ ばん
どもも版

だい き かめ おか し
第3期亀岡市

こ こ そだ し えん じ ぎょう けい かく
子ども・子育て支援事業計画



こ ひか かがや え がお
～ すべての子どもたちが光り輝く 笑顔あふれるまち ～

れいわ ねん がつ
令和7(2025)年3月

かめ おか し
亀岡市



けい かく どんな計画なの？



かめおかし れいわ ねん がつ こ こそだ ひと おうえん
亀岡市では、令和4(2022)年8月に“子ども”と“子育てをがんばる人”を応援する
こ せんげん こ えがお こそだ
「子どもファースト」を宣言して、子どもたちの笑顔があふれる、子育てにやさしいまち
すす
づくりを進めています。

けい かく こ せんげん こ えがお こそだ
この計画は、子どもファースト宣言の「子どもたちの笑顔があふれる、子育てにやさしいまち」づくりに
む ねんかん ねん とりくみ すす けい かく
向けて、これからの5年間(2025～2029年)でいろいろな取組を進めていくための計画です。



けい かく だれのための計画なの？

かめおかし す こ こそだ かてい こそだ かてい
亀岡市に住む、すべての子どもと、子育てしている家庭やこれから子育てをする家庭、
ちいき こそだ みまも ささ かた たいしよう
それから、地域で子育てを見守り、支える方を対象としています。



けい かく この計画がめざすこと



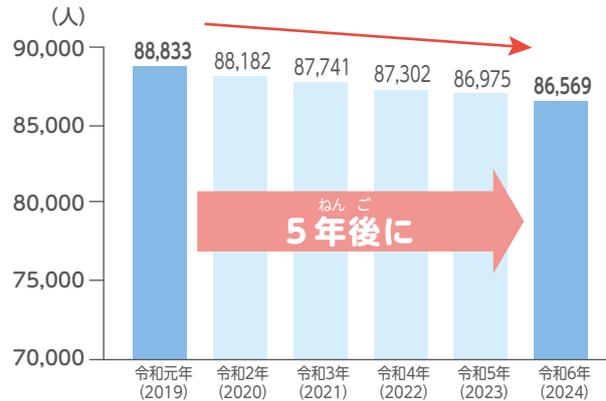
こ ひか かがや え がお すべての子どもたちが光り輝く 笑顔あふれるまち

こ こそだ かか ひと いけん こ
子どもや子育てに関わる人たちの意見をききながら、すべての子どもたちがすこやかに、
たの く ゆめ きぼう おも こ やさ
楽しく暮らし、夢と希望をもって“やりたい!”と思ったことがかなえられる、子どもに優しい
と く
まちづくりに取り組みます。

亀岡市の子どもに関する状況

市の人口の状況

市の人口は、
令和元(2019)年から令和6(2024)年の
5年間で2,264人、減少しています。

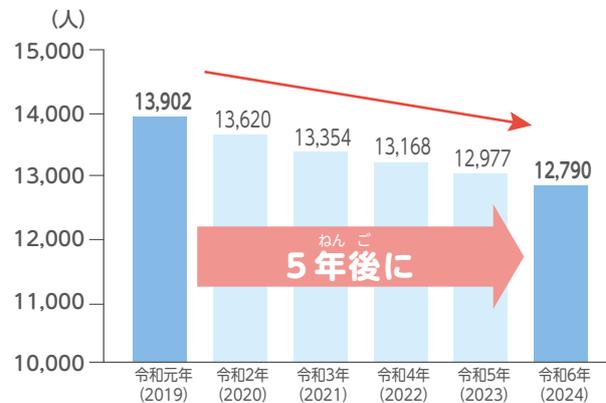


市の子どもの人口の状況

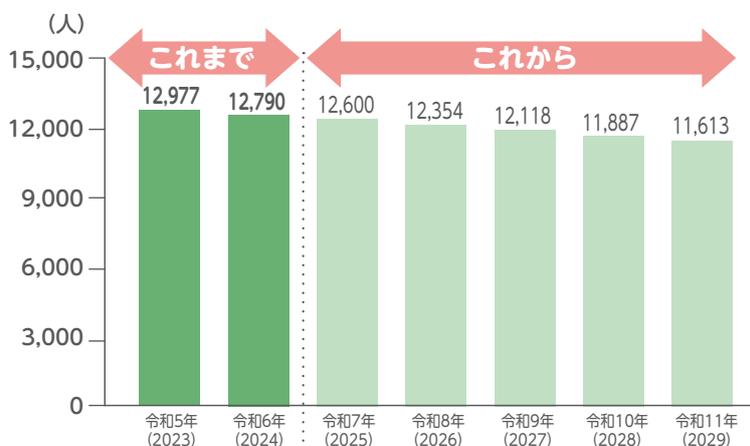
子どもの人口は、
令和元(2019)年から令和6(2024)年の
5年間で1,112人、減少しています。



人口の減少の半分は
子どもなんだね



市のこれからの子どもの人口の状況



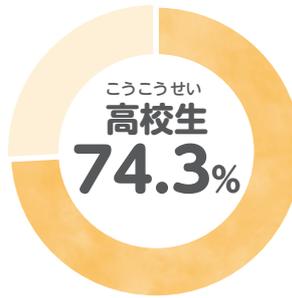
これからの子どもの人口は、
令和11(2029)年には
11,613人と、
令和6(2024)年の
12,790人から、
1,177人減少すると
推計されています。

“これまで”より
“これから”の方が
多く減るんだね

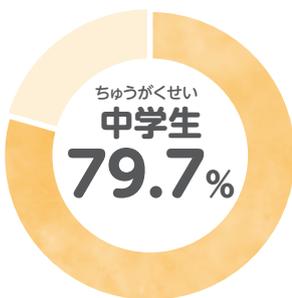


みんなにきいた「亀岡市ってどんなまち？」

Q1 「子どもにやさしいまち」 だと思う？



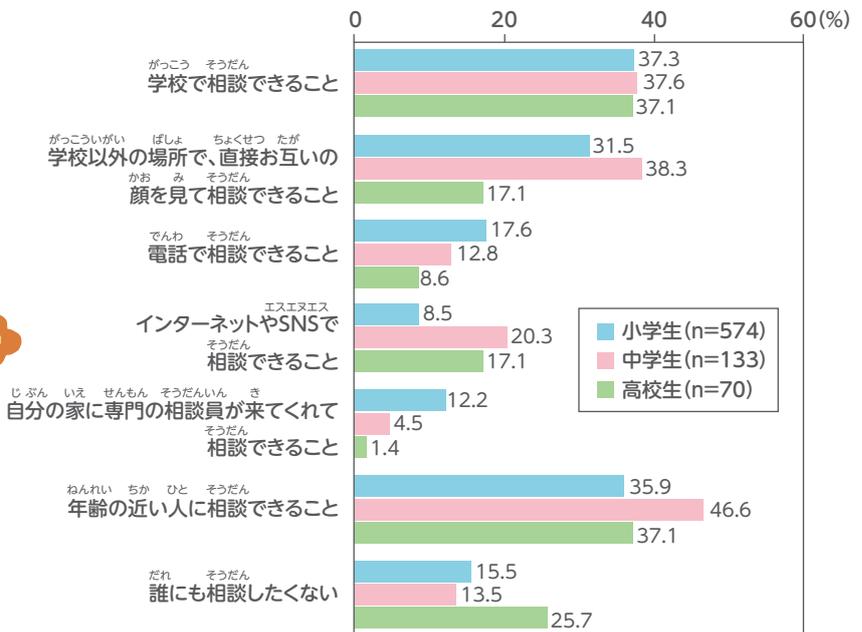
Q2 「子どもを応援するまち」 だと思う？



10人のうち、7~9人は「子どもにやさしいまち」「子どもを応援するまち」と答えているね

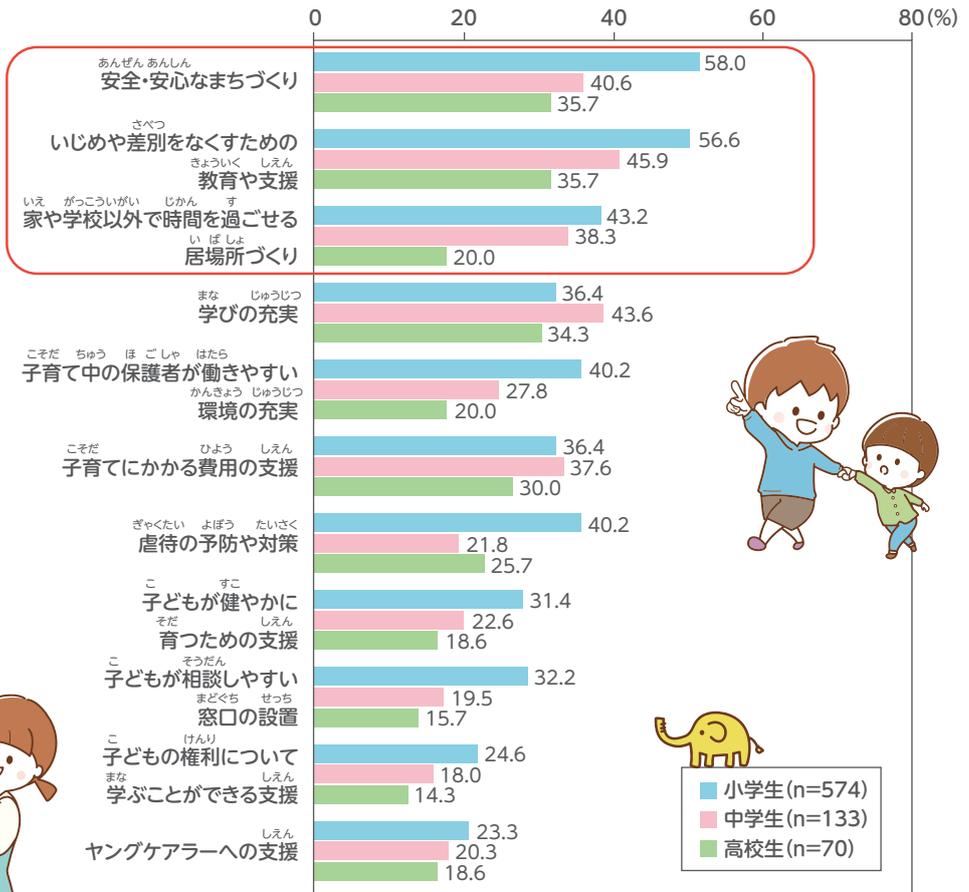
Q3 困っていることや悩みごとは、どんな方法なら相談しやすい？

学校で相談できること
や、年齢の近い人には相談しやすいみたいだね



Q 4

亀岡市にどんな取組をがんばってもらいたい？

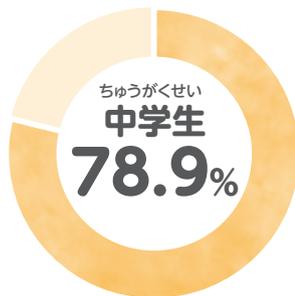


小学生 (n=574)
中学生 (n=133)
高校生 (n=70)

いじめや差別がなく、安全・安心に過ごせるまち・居場所づくりをがんばってほしいという意見が多いね

Q 5

亀岡市に住み続けたい？ (住み続けたい+離れることはあっても戻ってきたい)



10人のうち、7~9人は亀岡市に住みたいと答えているね

この他にも、みんなから多くの意見をいただきました。ありがとうございます。みんなが、子どもにやさしいまち、子どもを応援するまちと感じ、これからも住みたいと思えるような亀岡市をつくっていくため、いろいろなことに取り組んでいきます。



これから亀岡市が取り組んでいくこと

01. 地域ぐるみで子育てを応援します

- 地域ぐるみで子どもや子育てをがんばる人を見守ります。
- 子育てを応援する活動に参加する人を増やします。
- 子育てについて相談できるところを増やします。
- かめおか子ども・子育てハンドブックやSNSを使って子育てについて情報を発信します。



たとえば…地域子ども出迎えデー、かめおかつこ出前ひろば など

02. 子どものすこやかな成長を応援します

- 妊娠中の人や、赤ちゃんの健康を守ります。
- みんながこれから子どもをもつことについての大切な知識を伝えることで、未来の子どもたちが元気に育つチャンスを広げます。
- 妊娠中から子どもが育つまで、ずっとサポートし続けられる仕組みをつくります。
- すべての子どもたちが、亀岡で安心してすこやかに育つことができるような環境をつくります。



たとえば…給食における亀岡市産の食品の活用、相談窓口の充実、情報提供 など

03. 子どもの学びを応援します

- 子どもたちが、自分で学び、考え、行動できる力を育みます。
- 一人ひとりの個性を伸ばして、将来に向けた「生きる力」を育みます。
- 学校や地域の人たちが協力して、みんなが交流できる場をつくります。
- 大人になって子どもを産み育てることや、いのちの大切さを学ぶための取組をすすめます。



たとえば…学校・授業でのICT機器の活用、読書活動、自然体験活動 など



04. 子育てしやすい安全でやさしいまちをつくります

- 子どもが安心して遊ぶことができる居場所をつくります。
- 子どもが安心して外出できるまちをつくります。
- 子どもが交通事故や犯罪から守られる、安全・安心なまちづくりをすすめます。
- みんながいろいろな遊びを体験したり、親子で一緒に楽しめるイベントを実施します。

たとえば…ガレリアあそびの森、木育ひろば「KIRI no KO」、公園や広場の整備 など



05. 子育てしながら働く人を応援します

- 子育てしている人が仕事をしやすい環境をつくります。
- 保育所（園）やこども園などを利用したいのに利用できない人を減らします。
- 保育所（園）やこども園などで働く人を増やします。
- 子育てする人や保育所（園）などで働く人の負担を減らします。

たとえば…延長保育、休日保育、かめおか児童クラブ など



06. 子どもを大切にするまちをつくります

- みんなが考える“幸せ”がかなえられるまちづくりをすすめます。
- みんなが地域でともに成長することができるように支援します。
- みんなの困りごとに大人が気づけるように、支援のネットワークをつくります。
- 困っている子どもや家庭に、必要なサポートをします。

たとえば…亀岡市子どもの権利条例、スクールカウンセラー、適応指導教室 など





この計画をすすめるために

この計画をしっかりとすすめていくため、市役所だけでなく、市内の保育所(園)・幼稚園・こども園、学校などの子どもに関わる人たちや団体、会社や地域の人など、“**亀岡市のみんな**”で

子どもが光り輝き、子どもの笑顔があふれるまち 亀岡市 をつくっていきます。



「子どもの権利の日」知ってる？

亀岡市では、大人が協力して、未来をつくる子どもたちを応援していくために、「**亀岡市子どもの権利条例**」を平成30(2018)年12月15日につくりました。

この条例で、**毎年11月20日**を「子どもの権利の日」としています。

子どもは、

- ♥ 権利について理解したり、その内容を実際に行うために必要な教育を受ける権利
- ♥ 権利を守るために、相談したり助けてもらう権利
- ♥ 権利をじゃまされないために、助けてもらう権利
- ♥ 自分にとって大切なことを決めるときには、きちんと説明をしてもらったり、意見を言う権利を持っています。

自分の権利が守られていないと思ったら…

【**子どもの人権110番**】(全国共通・通話料無料) 電話：0120-007-110

【**亀岡市家庭児童相談室**】 電話：0771-25-5138 (こども家庭課こども支援係)



第3期亀岡市子ども・子育て支援事業計画
令和7(2025)年3月 亀岡市

こども未来部子育て支援課子どもファースト推進係
〒621-0805 亀岡市安町釜ヶ前82番地
電話:0771-25-5126(直通) FAX:0771-25-5128